

本日は、「しまねソフト研究開発センター」の開所記念式典に多くの皆様にご出席いただき、誠に有難うございます。

皆様には、日頃から県のIT産業の振興施策にご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、県におきましては、島根の地方創生を進めるため、県民や、経済界、市町村など、関係の皆様のご意見を伺い、総合戦略を先日決定致しました。

「子育てしやすく、活力ある地方の先進県しまね」を目指した総合戦略となっております。

総合戦略におきましては、若者が県内で安心して働ける場を増やすということを最も重要な目標の一つとしています。

そうした中で、島根で集積が進んできたソフト系IT産業をはじめとする産業振興は、最も重要な施策であります。

ITソフト産業の集積が島根の中で進んできたのは、やはり、Rubyを作り出した松本 行弘さんがおられ、国の経産省も日本発のコンピューター言語Rubyを世界に広げていかなければならないとして、いろいろな支援をしていただいたことが、一つの大きな契機となっております。

そして、県は、松江市と協調してRubyやIT産業の振興に努めてきておりますが、このたびの「センター」の開設により、ITの先駆的な研究開発や、高度な人材の育成・集積を促進し、県内IT企業の強化と県外からの誘致をさらに進めてまいります。

島根は、少子高齢化が早く進み、人口減少が著しい地方の県ですが、ITでは先進県であり、「活力ある地方の先進県」を進める一つの大きな核がこの「センター」であります。

皆様には、このセンターの利用により、ITを活用し、国内外で売れるサービス・製品を開発し、島根のIT産業の振興に貢献していただくことを大いに期待しております。

皆様で力を合わせて「地方の先進県」を目指して頑張ってください。

終わりに、本日お集まりの皆様のご健勝と、今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。